



礼拝ミニ講座（15）〈献金〉

礼拝において神の語りかけを聞き、それに応答して賛美し、祈り、献金を献げます。

〈神の恵みの賜物〉

クリスチャンは、すべてのものは神のもの、神によって与えられ、任されたものと考えています。ですから神に委ねられたものとして、正しく用いるように心がけます。

〈献金の心構え〉

神の恵みに感謝して、神への奉仕の心を持って、神に自らを献げる献身の表れとして、神に献金を献げます。礼拝に招かれ神を礼拝できること、また、神の語りかけを聞き応答できることに感謝して、献金を献げます。決して聴講料やお布施の類ではありません。

〈聖書の基準〉

旧約聖書では与えられたものの十分の一を神に献げるように繰り返し命じられ、実践されています。新約聖書でも、主イエスは同じように語り、またそれ以上に、神が御子をお与えになって救いの道を開いてくださったことへの信仰と感謝をもって惜しみなく献げ、主の恵みを分かち合うように教えられています。

「神は、喜んで与える人を愛してくださるのです」（Ⅱコリント 9:7）。精一杯のもの、できる限りのものを神、主に献げましょう。

参考聖書箇所…創世記 28:20-22、マラキ 3:8-10、マタイ 23:23、Ⅱコリント 8:1-5、9:6-8

「礼拝ミニ講座」は、礼拝についての学びの入口として、会衆が礼拝について（特に礼拝プログラムについて）学び、整えられていくことを目的としています。礼拝前のひと時、個人の学び、グループでの学びにご活用いただければ幸いです。